

車高をググッと持ち上げて運しさ倍増

純正の足回り部品を流用できるアゲバンキットは乗り心地を悪化させずに済むのがポイント。反面、リフト量には限界があり約5センチ程度。今回はさらにホイールとタイヤ交換でプラスαを狙う。タイヤの外径サイズの拡大はスピードメーターの誤差を生む原因となるが、その弊害がない範囲を割り出した結果が+3センチという数値。今回は本企画に賛同してくれた「T-STYLE AUTO SALES」の協力により、15インチのアルミホイールとオフロードタイヤを装着できることに。



ウルス号に装着するS2レーシングのアゲバンキットは前後のサスペンションの付け根部分に器具をかませることで車高を上げる仕組み。15インチホイールを装着するために114.3→100へのPCDチェンジャーも装着。
●S2レーシング ハイリフトアゲバンキット 15万円～

ウルス号装着タイヤ&ホイール

- タイヤ/マッドスター (195/65R15 91T) www.exizze-line.co.jp
- ホイール/XTREME-J XJ04 (15×4.5J) www.mijinc.co.jp



荷台部分は用途と全体の一体感を考慮した結果、ワンオフで製作することに。只今、車体と同時進行で製作中。完成イメージ図をチラ見せ。



After



Before



「カッコイイ軽トラ」はどんなクルマかと考えたとき、目指すべきスタイルはオフロードだと決めていた。お手本にするのは、海外で使われる軽トラ。「Japanese mini truck」とネットで検索すれば画像がたくさん出てくるが、外国のユーザーたちはリフトアップ&オフロードタイヤを装着したスタイルで楽しんでいる。農場など私有地の未舗装地で使うことが多いからその仕様だが、その姿がとにかく魅力的なのだ。一方で日本ではあまり見かけないだけに実現できれば、目を引き、宣伝効果も高いはずである。

S2レーシングも以前から、軽自動車オフロードスタイルを提案し続けていた。「他人がやらないこと、面白いことがしたい」がログセの菅原社長は独自開発した「アゲバンキット」でエブリイやハスラーのリフトアップ仕様も販売している。その実績と経験を活かせば、軽トラのキャリーであってもリフトアップが可能になる。アゲバンキットでのリフト量は約5センチ(2インチ)。それだけでもノーマルとはだいぶ印象も変わるはずだが、今回はオフロードスタイルを強調するために、ホイールのインチアップと肉厚タイヤを組み合わせ、さらにプラス3センチ、合計約8センチのリフトアップを敢行。俄然カッコよくなってきたウルス号なのでした。

お手本は海外の軽トラ
ウルス号をリフトアップ

デイトナの

はたらくクルママ

制作プロジェクト



エンジニア社のキャラバンカー「ウルス」号の製作プロジェクト。車体製作担当のS2レーシングでは早速、足周りのカスタムを開始。目指すはオフロードスタイルの“アゲ”仕様。

Illustration / Izuru ENDO Special Thanks / エンジニア www.engineer.jp

エンジニアの最新情報は「ウルス君」のツイッターでチェック!



@nejisaurus ウルスくん

オートサービスショーで最新情報公開!?

6月1～3日まで、東京ビッグサイトで開催される「オートサービスショー2017」にエンジニアが出展予定。日本最大の自動車機械工具実演展示会である同イベント。奥深く、実は楽しい工具の世界をちょっと覗いてみては? ウルス号の最新情報もコッソリ紹介しちゃいます!

第35回オートサービスショー2017

日時: 2017年6月1日(木)～3日(土) 時間: 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)
会場: 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-10-1) 入場料: 一般1000円(学生500円) / 登録制
www.jasea.org/autoservice.html

ENGINEER 株式会社エンジニア www.engineer.jp